

## 相談支援部会活動報告書 (光が丘障害者地域生活支援センター)

### 1 専門部会の検討テーマ・目的

相談支援ネットワークの推進と相談支援の体制整備に関する協議を行う。

- 相談支援に対する課題の抽出、整理、具体的な対応に関すること
- 相談支援に係るネットワークに関すること
- ケアマネジメント体制の強化に関すること

### 2 専門部会の開催状況と主な協議内容

回	年月日	主な協議内容
第 1 回	平成 29 年 3 月 1 日	<p><u>今期相談支援部会協議課題について共有、意見交換</u> 【主な内容】（グループワークの実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練馬区における相談支援の仕組みの共有</li> <li>・協議内容の共有</li> <li>・重点的な協議事項についての確認</li> </ul> <p><u>地域生活支援拠点等の整備について協議</u> 【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活支援拠点の整備に係る国の方針について</li> <li>・区の現状および整備の方向性について</li> </ul>
第 2 回	平成 29 年 7 月 7 日	<p><u>高齢者モデルの地域相談支援である地域包括支援ケアについて学習会を実施</u> 【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義：地域包括ケアシステムについて (練馬区社会福祉事業団 地域支援課長 酒井清子氏)</li> </ul> <p><u>第五期障害福祉計画・第一期障害児福祉計画について意見交換</u> 【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援、施設入所者の地域移行、障害児支援等について</li> </ul> <p><u>地域生活支援拠点等の整備について協議</u> 【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区立施設を中心とした地域生活支援拠点の面的整備の構築について</li> <li>・緊急時の対応、関係機関の連携等について</li> </ul>
第 3 回	平成 29 年 10 月 17 日	<p><u>高齢者の地域包括ケアの仕組みを参考に、障害者の地域生活における包括的な相談支援の仕組みについて協議</u> 【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーマルな支援ネットワークの構築について</li> <li>・地域包括的な支援の担い手としてのインフォーマルな支援の創造について</li> </ul> <p><u>地域生活支援拠点等の整備について協議</u> 【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見のまとめ</li> </ul>

第4回	平成30年1月24日	<p><u>障害当事者の視点から、練馬区における相談支援のあり方を協議する上での論点の整理</u></p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働による支援ネットワークについて</li> <li>・移行期におけるつながる支援について</li> </ul>
第5回	平成30年4月23日	<p><u>第4回から引き続き、障害当事者の視点から、練馬区における相談支援のあり方を協議する上での論点の整理</u></p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有について</li> <li>・継続性</li> <li>・ネットワークについて</li> <li>・相談支援の定着について</li> <li>・ピア相談について</li> </ul>
第6回	平成30年7月23日	<p><u>全体会での中間報告を踏まえて、重点的な協議内容について意見交換</u></p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会のインフォーマルな人材の育成と連携について</li> <li>・情報共有の仕組みづくりについて</li> <li>・ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業について情報共有</li> </ul>
第7回	平成30年10月24日	<p><u>第4期自立支援協議会への報告書作成に向けて、報告内容について協議</u></p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォーマルな人材を産み出す地域づくりに向けた啓発、発信のあり方について</li> <li>・連携の要となる重層的な情報共有の仕組みづくりについて</li> </ul>
第8回	平成31年1月16日	<p><u>第4期自立支援協議会に提出する報告書の内容について、協議の中で見えてきた課題について共有し、第5期への引き継ぎおよび提案事項について協議</u></p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議経過の振り返り、課題の整理</li> <li>・継続的に協議が必要な第5期への引き継ぎ事項について</li> </ul>

### 3 専門部会の協議の中で見えてきた課題等

(1) 相談支援に関する課題の抽出、整理、具体的な対応に関することについて	
現状・課題	○練馬区は自治体の規模が大きく、障害者・児の相談支援はフォーマルなものからインフォーマルなものまで、多様で重層的な仕組みが作られている。しかし、継続性や連携に課題があり、障害当事者を中心に生活をマネジメントする仕組みとしては十分に機能していない。
現状・課題に対する意見	○地域協働による支援のネットワーク化と移行期における継続性を確保して、縦（地域）横（時間）に切れ目のない支援が行えるようにすることが必要ではないか。
解決に向けた取組	○多様な関係者が情報を共有できるような情報共有ツールや共有の仕組みづくりを推進する。 ○地域福祉に関わる様々な地域資源を活用して、インフォーマルな人材を含む多様な人材が参加する地域相談関係者の拠点づくりを進める。 ○ピア支援員の育成やピア活動の推進など、マネジメントの主体となる障害当事者へのエンパワメント支援を強化する。 ○アウトリーチ型の地域啓発活動により、地域のインフォーマルな支援者の育成を進める。

(2) 相談支援に係るネットワークに関することについて	
現状・課題	○大規模自治体であるがゆえに、制度（所管部門）や地域ごとに様々な取組が行われており、個々の取組の内容は充実しているが、柔軟性、即応性のある連携が難しい。
現状・課題に対する意見	○個々の当事者の課題から地域を俯瞰する視点が必要ではないか。 ○構造的な問題であり、仕組みの改善だけでなく、並行して仕組みを活用していく当事者へのエンパワメント支援の充実が必要ではないか。
解決に向けた取組	○地域で障害者相談に関わるフォーマル、インフォーマルな支援者を育成する仕組みを体系化する。 ○セルフケアマネジメントの理念を明確にし、当事者、家族、支援者に周知、共有する。 ○地域ケアセンター会議など、地域福祉に関わるインフォーマルな人材も参加している地域包括的な会議体へ、障害者相談や障害支援関係者の参加を推進する。

(3) ケアマネジメント体制の強化に関することについて	
現状・課題	○ケアマネジメント担当者として相談支援制度が作られ、練馬区としては制度開始時から、区立の指定管理者4所を中心に、制度の定着拡充に取り組んできた。しかし、基本相談が報酬に反映されないなどの制度上の課題もあり、相談の質の確保は事業所にゆだねられている状態で、相談支援専門員の質に差がある。
現状・課題に対する意見	○相談支援専門員個々の力量差は、育成に当たる事業所の方針によって生じている面が大きいのではないかと。 ○相談支援専門員を利用する障害者の当事者意識の不足も背景にあるのではないかと。
解決に向けた取組	○練馬障害福祉人材育成・研修センターや基幹相談支援センターで実施する相談支援に係る研修を、東京都単位で実施される相談支援専門員初任者研修、現任研修を補完する内容として、練馬区の相談支援専門員研修の体系化を図り、相談支援事業者、相談支援専門員の参加を促す。 ○障害者ケアマネジメントの理念共有のための練馬区版「私たちが目指す相談支援専門員の姿」を作成し、上記の研修において周知・共有する。

#### 4 第5期への引継ぎおよび提案事項等

今期の「専門部会の協議の中で見えてきた課題等」で提案した解決に向けた取組については、進捗状況を継続的にモニタリングしながら、引き続き改善に向けた具体的、現実的な提案を行なっていく。

当事者中心の取組とするためには、当事者や家族のエンパワメントと社会参加が必須である。地域生活の視点から当事者、家族の地域への関わりを深めることを目的に、地域福祉関係者との幅広い連携のあり方を検討していく。